

農村計画学会 2021 年度秋期シンポジウム（40 周年記念プレシンポジウム）（第 1 報）

大会実行委員会・企画委員会・学術研究委員会

テーマ：不確実性に挑む農村計画

ー災害対応においてどのように意思決定がなされたかー

日 時：2021 年 12 月 11 日（土）13：00～17：00

開催方法：新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、オンライン形式で開催いたします。

費 用：無料

趣 旨：

東日本大震災から 10 年が経過したが、この間も想定外の災害や新型コロナウイルスのパンデミックなどの不確実性に対応しなければならない場面が増えている。本シンポジウムでは、過去 10 年間の東日本大震災を中心とした災害対応の経験を踏まえ、現場においてどのように意思決定がなされたかを検証する。この時に、これまでの農村計画学の知見がどのように生かされたのか、またこの経験を今後の農村計画学の発展にいかにつなげていくかに焦点を当てて議論を深めたい。なお、本シンポジウムは、2022 年度春期大会で開催予定の学会 40 周年記念シンポジウムのプレシンポジウムとして開催する。両シンポジウムに共通したテーマである「不確実性への対応」について、とくに「これまで」の議論に重点を置き、40 周年記念シンポジウムにおける「これから」の議論につなげたい。

プログラム（案）

1. 開会挨拶 13：00～13：05 大会実行委員長 比屋根哲（岩手大学）
2. 趣旨説明 13：05～13：10 企画委員会委員長 中塚雅也（神戸大学）
3. 第Ⅰ部 講演
  - 講演 1 13：10～13：30  
「震災復興における用地問題とその対応（仮）」小野寺徳雄（元岩手県庁／㈱昭和土木設計）
  - 講演 2 13：30～13：50  
「震災復興とまちづくり（仮）」神谷未生（岩手県大槌町 おらが大槌夢広場）
  - 講演 3 13：50～14：10  
「津波被災からの商店街再建（かもめ通り商店街）」村上俊一（宮城県気仙沼市 浜商栄会事業協同組合）
  - 講演 4 14：10～14：30  
「宮城県丸森町における令和元年台風 19 号の被災と復興（仮）」川井縁（宮城県丸森町）
  - 講演 5 14：30～14：50  
「被災者支援と復興まちづくり」鈴木亮平（福島県南相馬市 NPO 法人 urban design partners balloon）
- （休憩：14：50～15：05）
4. 第Ⅱ部 総合討論 15：05～16：50  
コーディネーター： 広田純一（岩手大学名誉教授）
5. 閉会挨拶 16：50～17：00